

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 タイトル 担い手のニーズに応えるための取組み

 J A 名 なすの（栃木）

1 動機 （経緯）	組合員からも訪問の強化を望む声があり、待ちの体制から出向く体制への転換を目指しました。
2 概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進要領を作成し、1 担当者、月 30 件の有効面談の達成を目指すことにしました。 ・ 組合員のニーズに応えるため、J Aバンク農業金融プランナー資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を目指しました。有資格者は現在、17 名となっております。 ・ 事業間連携の取組み
3 成果 （効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ J Aバンク農業金融プランナー資格者は、平成 25 年度では 10 名でしたが、平成 26 年度は新たに 7 名が取得し、17 名の取得者となりました。平成 27 年度は、9 名が資格取得を目指しています。
4 今後の 予定（課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出向く体制と事業間連携の取組みにより、多くの情報獲得と活用が鍵となります。そのためには、いかに有効面談数を増やしていけるかが課題となっております。